



卒業研究I・II(組織行動論) / 八木 規子 教授

多様性のある学びの環境で、より良い働き方を考える

経営の重要な要素である「人」に焦点を当て、多様性が高まる職場でより良く働くための方法を、組織の人間行動に見られる規則性に関する理論に基づいて学びます。国籍、性別、個性、価値観が異なるゼミ学生が、地域のプロジェクトに取り組みながら、協働のあり方を体感、理論と実践を融合させる学びが得られます。プロジェクト活動資金を得るための助成金申請や活動成果の報告会への参加など、活動的なゼミを展開しています。



実際に街へ出て、地域プロジェクトの課題に取り組みます。



地域の人を取材し、その声に耳を傾けることも、重要な学びの場です。



チームごとに調査結果をゼミ内で発表。議論を重ねて、提案内容に磨きをかけます。

卒業論文テーマ例

- ▶ 児童労働における教育問題
—人間の安全保障という観点からの基礎教育の重要性—
- ▶ 日本国憲法制定過程における歴史的条件
—「敗戦」から「公布」まで—
- ▶ 地域社会と地方鉄道の共生
- ▶ 日本における同性婚・パートナーシップ制導入の可能性
- ▶ 就労外国人の人権と生活について
- ▶ 日中における離婚問題の相違について
- ▶ ディズニーの文化
—ディズニーは周囲にどのような影響を与えたのか—
- ▶ 知的財産に関する判例の再検討
—フランク三浦事件—
- ▶ より良いリーダーとフォロワーの関わり方
—スーパーにおける観察から—
- ▶ アメリカ医療制度の検討
—オバマケアを中心として—